

社会福祉法人純正福祉会 青葉はるまち保育園

平成 28 年度事業報告書

1. 保育実績 (のべ人数)

	計画	実績	増減
保育日数	295 日	295 日	—
平均保育人数	120 名	131 名	11 名
利用児童総数	35,400 名	38,737 名	3,337 名
対定員充足率	100%	109%	9%
延長保育人数	1,991 名	3,886 名	1,895 名
(内日日延長保育人数)	—	572 名	—
一時預かり保育人数	600 名	634 名	34 名
公開保育利用者数	200 名	217 名	17 名

○平成 28 年度保育状況

年齢 /月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0 歳児	6	8	10	12	13	13	15	15	15	15	15	15	152
1 歳児	24	24	24	24	24	24	24	23	22	22	22	21	278
2 歳児	20	20	21	21	22	22	22	22	22	22	22	21	257
3 歳児	25	25	25	24	24	24	24	24	25	25	25	25	295
4 歳児	20	21	22	22	22	22	23	23	23	23	23	22	266
5 歳児	27	27	27	27	27	27	27	27	28	28	28	28	328
合計	122	125	129	130	132	132	135	134	135	135	135	132	1576

2. 保育内容について

(1) 生活を中心とした一人一人の育ちを大切にしています。

長い保育時間のなかにあつて、子どもが不安やストレスを抱えることなく、子どもの表情や行為、声の調子、思いなど未熟な表現に保育者は応え、寄り添いながら「子どもは一人の尊重すべき人格者」として、子どもなりに自分を発達させようとする力と可能性を引き出すように援助しています。

そのために、保育の方法として、特定の保育士の愛情深いかかわりが基本的な信頼関係形成を促すということに基づき、また、保育者も一人一人の子どもをより理解できるように3歳未満児は、保育者の担当制を取り入れています。

3歳以上児は3,4,5歳児の異年齢保育を取り入れている。これは、クラスを大きな家族としてとらえ、子ども自身が刺激し合つて、仲間を尊敬したり、思いやったりすることや大きな子は小さな子を助けることによって自信が湧き意欲へとつながり、小さい子は大きな子のすることを模倣したり、身近な人から教えてもらうことによって早く大きくなりたいという努力、意欲をもつようになるといった保育効果を考慮しているからです。

このような日々の取り組みのなかで、家庭を含めた24時間の日課を考慮し、ていねいに育児にかかわり、安定した生活を促すようにしています。

(2) 本物に出会い、触れることを通して多様な経験をし、成長、発達を促しています。

風、水、土、雨、植物、絵画、音楽など本物に触れ、五感を使って様々な体験をしながら運動機能の発達や知的好奇心、思考力、認識力、創造性を育てています。また、様々な体験のなかで、子どもの成長に重要な達成感、挫折感、葛藤、充足感などの感情を味わえるようにしています。

- ◆具体的事例
- ①食器は陶器を使用し、食材はより自然食品、おやつは手作りにしている。
 - ②見る環境として油絵、版画などを園内に配置している。また、年長組は美術鑑賞として博物館などを見学する。
 - ③毎年行う子どもたちの音楽会では、プロのピアニストや声楽家、ボランティア、大学、高校などのブラスバンドなどに来てもらい親子で聞く。
 - ④『環境教育』として、〈子どもから親への発信〉をテーマに自然事象・社会事象などを観察し、知る楽しさを学ぶことや清掃活動などの体験を通じて、家庭での話題となり身近な地域の環境美化に関心を持たせ、豊かな心情を持つ子どもの育成を図っている。

(3) 『応答的保育』を実践し、子どもが自ら考え、行動できるように援助しています。

『応答的保育』とは、子どもの発達観を心理学者J・ピアジェやJ・M・ハントの流れ

をくむ人間発達の相互作用説である認知発達心理学に基づくものであります。これは、子どもは人間を含む環境とのやりとりで成長・発達するという考えを基盤にし、人間は、もちろん子どもを含めて、外から賞や罰を与えられなくとも、自分のもっている能力や発達のレベルより「少し程度高い」あるいは「少し複雑な」環境や刺激に接するとき、自ら興味を持って行動するというものである。

つまり、『応答的保育』、子どもの教育、子どもの保育において環境からの応答性を重視する保育です。その保育は、子どもの遊びのなかで、おもちゃや物の応答性をどう考え、準備するか、また、保育士や保護者が「ことばによる応答」でどう対応するか、さらには、「心の応答」によって共感的心情をどう作りだしていくかといったことから構成されています。

『応答的保育』を行うことによって、子どもは言葉をはじめとした知的な能力、自発性、意欲、他者への信頼感が培われていくことを目的としています。

- ◆具体的事例
- ①子どもが主体的に生きること。一人一人がやりたい活動に指示や命令など条件づけられた生活ではなく、十分に子どもが自己発揮して主体的に取り組むことができる。
 - ②適切なズレをもった物理的環境の準備
 - ③遊びなどの活動に必要なものがいつも一定のところに置いてあり、繰り返し出来る。
 - ④人的環境のなかで大きな役割を果たす異年齢保育の実施。
 - ⑤保育者が目立たない。

3. 園行事等について

○別紙参照《青葉はるまち保育園 平成28年度年間行事表》

4. 施設整備について

○固定資産物品 三菱タウンボックス（車両）11月5日に青葉保育園より移管

5. 平成28年度 苦情解決結果について

※ 特に苦情・要望はありませんでした。

6. その他について

(1) 安全管理

- 防災訓練 毎月1回避難訓練、年1回消火、通報訓練を実施しました。
- 健康管理 園児・職員の定期診断及び全職員の細菌検査を毎月実施しました。健康管理には最善の注意を払い、伝染病については最善の処置を行ってきました。

○ 衛生管理 危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行いました。

(2) 地域交流

- ・ 敬老週間に地域の高齢者、園児の祖父母の交流会として今年も実施しました。
(参加人数 100名)
- ・ 地域公開保育を毎月木曜日に行い、地域交流を行いました。
(総参加人数 217名)
- ・ 乙仲原東地区の秋まつりに、3歳・4歳・5歳児が参加しました。会場にてお店屋さんごっこを行いました。

(3) 実習生・ボランティア

- ・ 大学の受入校 (3校) 6名
- ・ 専門学校の受入校 (2校) 19名
- ・ 給食実習(大学1校) 2名
- ・ 高校の受入校 (1校) 9名
- ・ ボランティア
(クリスマス会のサンタクロース役、門松作製、絵本の読み聞かせ、九州プロレスによるプロレスラー慰問)

平成28年度 年間行事表 青葉はるまち保育園

日時	行事名	内容
4月4日	平成28年入園のつどい	第5回目の入園式 入園児30参加
5月10日	内科検診	嘱託医 大坪医院 大坪庸子先生 13:00～
5月18日	歯科検診	嘱託医 原町駅前歯科 野澤英世先生 9:30～
5月24日	味噌作り	あいわ農園松尾氏指導 5歳児味噌作り
5月30日	第4回親子ふれあい遠足	駕与丁公園展望広場にて親子遠足 10:00～
6月13日 ～20日	保育参観週間 クラス懇談会	クラス懇談会 13日(月)そら組・14日たんぼぼ組 (火)・16日(水)はな組・(2組)17日(木)
7月21日	交通安全教室	交通ルールを知り、安全に歩くことを体験する
9月2日	敬老会	在園児祖父母100名参加による園児との交流会 クラスで孫や園児と遊んでもらう
9月17日	第4回笑顔いっぱい運動会	粕屋町総合体育館メインアリーナにて全園児参加による運動会開催
10月4日	内科検診	嘱託医 大坪医院 大坪庸子先生 13:30～
10月29日	乙仲原東区秋まつり参加	地域の秋祭りに3・4・5歳児が参加 子ども広場にて (18:00～19:30) 18:00:遊戯3曲披露 18:15～夜店(販売体験)
11月2日	歯科検診	嘱託医 原町駅前歯科 野澤英世先生 9:45～
11月27日	秋の遠足	5歳児 香椎宮まで徒歩遠足 (9:00～12:30)
12月17日	門松作り	保護者のボランティアで、門松の作り方を披露し、展示してくれる
12月21日	クリスマス	サンタクロース来園(保護者のボランティア)
1月20日	つどいあおば会リハーサル	サンレイク さくらホールにてつどいあおば会のリハーサルを行う
1月23日	つどいあおば会	第4回つどいあおば会 さくらホールにて 5歳児わらべうた、合唱、オペレッタ、合奏、 幕間:バルーンアート(ボランティア)
2月3日	節分	赤鬼、青鬼来園(保育士による)
2月7日	九州プロレス	プロレスラーとの交流会(綱引きなど) *保護者の主催する団体のボランティアとして
2月20日	絵本会	保護者のボランティアによる読み聞かせ会
2月22日	卒園遠足	卒園児28名 太宰府、九州国立博物館 引率:園長先生・吉積・上野・東司
2月25日	入園説明会	平成29年度入園説明会(在園児対象)13:00～
3月4日	入園説明会	平成29年度保育説明会(新入園児対象) 30家族参加 13:30～16:00
3月9日	絵本会	保護者のボランティアによる読み聞かせ会
3月21日	4園合同研修会	研修会(講師:掛札氏)
3月25日	第4回卒園式	卒園児28名 卒園式
3月31日	保育修了	平成28年度保育修了